

中和地区3市1町障害者自立支援協議会  
平成31年度 第1回運営委員会 議事録

開催日時：平成31年4月16日（火）10:00～12:00

開催場所：葛城市福祉総合ステーション（ゆうあいステーション） 2階会議室

出席者：葛城市（田中氏）香芝市（白石氏）大和高田市（山本氏）広陵町（佐々木氏）  
圏域Mg（木村氏）圏域弁護士（荒木氏）ブリッジ（石井氏、阪本氏）青垣園（堀氏）  
shake（吉岡氏）ふわら（秋本氏）香芝市社協（江口氏、清水氏）葛城育成会（村山氏）  
西和養護（横澤氏）大淀養護（山本氏、山崎氏）葛城市社協（高橋氏/副会長、池氏）  
もちつもたれつ（大竹氏/会長）まんだらトポス（福井/副会長・記録） 順不同

配布資料：次第、前回議事録、大和高田市部会報告書、こどもプロジェクト報告書、平成31年度地域生活支援拠点等準備プロジェクト年間計画（案）、地域生活支援拠点等準備プロジェクト視察計画書、就労支援部会2019年度計画（案）、「暮らし」のリアルから学ぶ」研修チラシ、「ネウボラとフィンランドの切れ目のない家族支援」資料、平成30年度中和地区3市1町障害者自立支援協議会歳入歳出決算書、中和地区3市1町障害者自立支援協議会設置要綱、中和地区3市1町自立支援協議会啓発イベント企画書（案）、障害が窺われる生活困窮者等への支援、個人情報保護について

## 1、開会

## 2、議事

### ○全大会の報告

- ・副会長福井より報告。

事前申し込みは57名、当日は70名弱の参加。訪看St.や児童を含めた各事業所など様々な方に来ていただいた。次回はもう少し早い段階で講演等の内容を決定できればと考えている。また、当日の人員配置や準備、写真撮影などに課題を感じた。

### ○部会、プロジェクトチームより報告

- ・堀部会長より大和高田市部会状況報告（別紙参照）

4/12（金）第1回開催。部会内研修。今年度活動内容確認。研修会実施についての検討。

6/12（金）研修実施予定（別紙研修チラシ参照）

- ・担当市である大和高田市山本氏よりこどもPJ状況報告（別紙参照）

今年度活動計画について。大和高田市部会との合同視察について。（別紙「ネウボラとフィンランドの切れ目のない家族支援」参照）

※部会化について

会 長：子供に関する地域課題は次々出てくる。部会という形で、継続的に活動する方が  
良いのでは。

山本氏：現在、PJ リーダーも不在の状況。今後の課題と考えている。

会 長：今年度の活動の中で深めていっていただきたい。

- ・PJ リーダー木村圏域 Mg より地域生活支援拠点等事業準備 PJ 状況報告（別紙参照）  
今年度計画について。地域共生館ふれぼの（西宮市）視察について。  
4/19（金）第1回開催予定。

#### ○出席者自己紹介

#### ○平成 30 年度会計報告

葛城市社会福祉課田中氏より、別紙決算書をもとに報告。

#### ○今年度の全大会について

講師依頼のことも考え、早期に検討していきたい。今年度の内容について、昨年度全体会参加者  
に意見を求めたい。

- ・グループワークの時間が短かったように感じた。
- ・児、者、高齢者等の業種別に分かれてグループワークを行ってもよかったのでは。
- ・事業者のみなどと参加者を絞る方が良いのか。内容については、そのとき一番関心の高いものが  
良いと思う。
- ・全員が興味のある話題、議題は難しいのでは。議題ごとのグループワークなども良いのでは。  
インターネット、SNS 関連の話題は幅広く興味があるのでは。
- ・直接話のできる場などがあり、持ち帰れるものがあれば良いと思う。
- ・互いの業種への意見も聞くことができれば良いと思う。
- ・分野の違う方の意見を聞くこともできて良かった。
- ・フリートークのようなものを交えても良いのでは。

副会長福井：業種別に加え、地域別のグループワークも良いと思う。

会 長：時間の取り方についてもご意見いただければと思う。

副会長高橋：近頃社会問題として取り上げられている“ひきこもり”はどうか。

葛城市田中：“ひきこもり”というテーマは、話を深めることが難しいとは思う。しかし、皆が関心  
のあるという意味では良いかもしれない。

#### ○年間スケジュール

- ・視察に関して

地域生活支援拠点等事業準備 PJ      西宮市視察    6/4（火）予定。

こども PJ、大和高田市部会            合同で名張市視察を予定。

## ○イベント開催について

会長より開催趣旨説明。5月から検討開始し、11月開催予定。

圏域 Mg 木村氏より、別紙企画書に沿って説明。開催場所はゆうあい St.を予定。

以下、意見。

- ・ 普段相談しにくいようなことを気軽に相談できるものしたい。また、相談している間、子どもが横で過ごせるような場所があれば良いと思う。
- ・ 規模により、どこまでの範囲の事業所に呼びかけるのが課題では。
- ・ 来場者数が読めないというのが課題。会場の規模等に関わってくる。
- ・ ゆうあい St.で行うのであれば、他市町からは少し距離がある。
- ・ 地域に根差したという考えから、地域の一般店に出店してもらう必要もあるのでは。
- ・ 子どもがどれだけ楽しめるかという視点も必要だと思う。
- ・ 調理店を出すのであれば衛生面の問題も出てくる。相談している間の子どもの見守りでは、大学の学生ボランティアを活用しているところがある。ステージでの出し物や、著名人の出演も良いと思う。
- ・ 駐車場や交通の課題もある。当事者の方々の参加もあれば。
- ・ イベントの目的をしっかりと決めていくことが大切。
- ・ 他の福祉イベントとの差別化をどうするか。全体会と絡めての開催はできないのか。
- ・ ただ単純に人を集めるだけでは賛成できない。支援者が集まれるものも良いと思う。

会長：今年度については葛城市民の方々に来ていただければと考えている。毎年度、開催地を変えていくようなイメージを思っている。テーマを決めてこれから練っていければと考えている。

- ・ 全大会にて講演内容にそった形で、講演内容の関連事業所や支援団による相談ブースを設ける形もありでは。
- ・ 内容によって、ライフステージに応じた相談ブースを設けても良いのでは。
- ・ 人が足を運んでもらわないと意味をなさない。回を重ねていく中で浸透し、広く知ってもらうことがまずは必要であるかなと思う。自分たちが楽しくやりたいと思う。

会長：課題を抱えている方への発信がイベント。機関のつながりを作っていくのが全体会という風にイメージしている。

- ・ まずは知ってもらうということであれば、年度での市町の持ち回りで各市町それぞれの課題や発信したいことを伝えていけばよいと思う。
- ・ 誰に対して何を伝えたいのか。まずは絞り込みが必要。

会長：広く自立支援協議会を知ってもらいたいというよりは、困ったときにどこにいけばよいかを知ってもらいたいというのがひとつ。そして、自立支援協議会として、各機関のしっかりとしたつながりという二つが必要と考えている。イベントは、地域の方々に自立支援協議会ではなく、我々、相談担当者の顔を知っていただく場。全大会は自立支援協議会の活動を各機関に働きかけ、活動への参加を促す場と考えている。

※大竹会長より、イベントを開催予定とし、検討していく方向で良いかと出席者に諮り、異議なく承認される。

○中和圏域担当弁護士荒木氏より「個人情報保護について」  
別紙に基づき、説明受ける。

○ブリッジ石井氏より「障害が窺われる生活困窮者等への支援」について  
別紙に基づき、説明あり。

### 3、閉会

○次回予定

日時：令和元年6月18日（火）10：00～

場所：葛城市福祉総合ステーション（ゆうあいステーション） 2階会議室